

修了式・離任式の翌日、正門脇にある早咲きの桜が咲き始めました。2日程で満開になり、見事なピンク色は見る者を楽しませてくれました。遅れること数日、3月末には遅咲きの桜も咲き始め、いよいよ始まる今学期を祝うかのようなようでした。4月7日(月)に始業式、8日(火)には入学式を終え、いよいよ令和7年度が本格的に始まったと身の引き締まる思いがしています。

赴任して3年目を迎えました。教育目標「心豊かでたくましい生徒の育成」と学校づくりのスローガン「自立型人間になろう(豊かな心を持ち、自分と他人を愛することができる生徒)」は変えていません。3年目に突入するこれまでの取り組みと、以下の5つの重点課題の実現に向けたより具体的な取り組みを通して成果をあげながら、家庭や地域にますます信頼される学校をめざして参ります。

- 生徒用タブレットの活用率を**50%以上(1日3時間以上使用)**にする。
- 「授業が楽しいと思いますか?」の肯定率を**県平均まで引き上げる**。
- 「いつでも、誰にでも大きな声での挨拶ができる」の**生徒達成率を70%以上にする**。
- 多様な人との関わりの場(学校全体または希望制)を**年間10回以上設ける**。
- **オープンスクール発表会を実現**し、仁尾中型探究学習の時間を確立する。

始業式で今年度、特に頑張ってもらいたいこととして次のような話をしました。

特に頑張ってもらいたいことの一つ目は、学校に「ありがとう」の言葉があふれてほしいということです。これまでも同じような趣旨のことを話してきましたが、修了式の後で1年生全員が校長室にメッセージカードをもって、お礼を言いに来てくれました。読ませてもらうと、登校指導に対する「ありがとう」が主でしたが、「毎朝挨拶をしてくれてうれしかったです」「おかげで元気に登校できています」「私も自分の町をきれいにできるように頑張ります」「おかげで私も学校をよりよくするためにという気持ちがありました」等、一人ひとりからの言葉に、始めた頃の思いが蘇ってきたり、もっと頑張ろうと思えたりしました。改めて、本当に「ありがとう」のもつ力は凄いと感じました。そんな言葉がもっとあふれる学校になってほしいです。そのためには、他人がしてくれていることに気付くこと、そしてそれに素直な感謝の気持ちをもつことで、自然と「ありがとう」という言葉が出てきます。皆さんに願っている心の豊かさの完成形は「ありがとう」の言葉です。

二つ目は修了式で話した4つの力を覚えていますか? ビジョン: 夢や目標、エデュケーション: 主体的な教育力、ダイアログ: 多様な考えをもつ人との関わり、アクション: 行動力の4つでした。それに加えて「エラー&ラーン」を意識してみてください。訳すと「失敗から学ぶ」という意味です。昨今できるだけ失敗しないような教育になっています。確かに失敗しないにこしたことはないのですが、失敗は全ての悪ではありません。学校生活や日常生活のなかで、何かのひらめきを感じたら、まずは失敗を恐れずにやってみる。例え失敗したとしても、そこから学べば良いわけだし、そこから成長していけば良い。例えば、どこが間違いか分かりますか? これも立派な「エラー&ラーン」です。失敗が怖くて何もしなければ、失敗をしない代わりに何の成果も得られません。「失敗から学ぶ」こと、頑張ってみましょう。

今年度は全校生徒121名と教職員26名でのスタートとなりました。「自立型人間になろう(豊かな心を持ち、自分と他人を愛することができる生徒)」のスローガンの下、子どもたちが新しい学級で新しいなかま、新しい先生方と力を合わせながら、自立に向かっての成長がなされるように、私たち大人がしっかり見守り、温かな眼差しを送っていこうと思います。保護者の皆様には、本校教育活動にこれまでと変わらぬご理解・ご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

